

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		法規事務費〔行政不服審査事務〕												
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	文書費	事業番号	2			
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの												
担当部署・課長名		文書			課			法規			係	課長名	嶋田淳	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。										施策番号		行	—	2
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現										総合計画書 (ページ)		122		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）								
	行政庁の処分に不服があるために行われた審査請求					審査請求件数								
	→													
	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）								
審査請求に対する公正中立な審査の実施					裁決件数／審査請求件数									
→														
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）									
審査庁による審査（審理員による審理手続、東大和市行政不服審査会への諮問）					審査請求に対する裁決件数									
→														
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標						
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標						
	対象指標	①の数値	件	0	2	0								
	成果指標	②の数値	%	0.0	100.0	0.0								
	目 標	②の目標値	%			100	100	100						
	目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。） 審査請求があった事案は、すべて裁決を行う。													
活動指標		③の数値	件	0	2	0								
3 経費	事業費（実績）		円	0	63,000	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）							
	財源	一般財源	円	0	63,000	0								
		特定財源	円	0	0	0								
		（うち受益者負担）		円	0	0						0		
		人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.03	0.5						0.1		
	所要人数(再任用)	人	0.02	0.0	0.0									
	職員人件費(再任用以外)	円	247,320	4,155,000	838,000									
職員人件費(再任用)	円	77,840	0	0										
事業費＋人件費		円	325,160	4,218,000	838,000									
4 課題	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く 当市において、過去の審査請求でどういう裁決があったか、類似事例を参考情報として市民に説明できるようにしておく必要がある。審査請求手続についての説明を確実に行っておけば、審査請求書の補正等により時間を要することも減ると思われるため、必要に応じて説明資料を改訂する。													
	5 今後の方向性 仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ※廃止したものを除く 過去の審査請求の概要をまとめた資料を作成する。審査請求手続についての説明資料を見直す。効率化できる事務がないか、他市の事例等の情報収集を行う。													